

## ■生理検査科

### ○平成20年度目標

#### 1. 検査の「質」の維持、向上

- ・検査受け入れ態勢を整える
- ・検査技術・知識の向上

##### 〈評 価〉

20年度はスタッフの変更もなく、人的な面での受け入れ態勢は安定していたと思われます。

年度末にかけて検査予約システムの変更が行われたのに伴い、各検査の予約枠の見直しを行い、要望が多かった午後の腹部エコー予約や午前の枠（一部）を腹部以外も予約可能とする、予約枠の時間設定を変更（延長）するなどの改善を試みました。

結果、予想以上に午後の腹部エコー予約が増加するなど、改善による効果が多々認められました。システム開発に際し、数々の意見、要望を聞き入れてくださったシステム開発室の皆様、どうもありがとうございました。この場を借りてお礼申し上げます。

検査技術・知識の向上については、後述にあるように各講習会・研修会への参加を行ってはいるものの、これまでと比較すると参加回数がかかなり減少してしまいました。今後もPSG検査による残業によって参加予定の変更を余儀なくされるなど、予定が組みにくい面が続くのは変わらないですが、可能な限り参加するとともに、それらで得た知識をほかの者へも伝え、皆が幅広くまた新しい知識・技術を身に付けるよう努力をしていきたいと考えています。

#### 2. 医療事故の防止

- ・患者さまの取り違えの防止
- ・怪我の防止
- ・事務的ミスの防止

##### 〈評 価〉

20年度のインシデント報告はレベル1のみ2件。ヒヤリハットであるレベル0が2件。全て前期（4月～9月）に報告されたものです。

インシデントの件数としては前年度に比べ半減したものの、いずれも検査結果に大きく関わる内容で、場合によっては治療や処置に影響を与える可能性もあったことから、レポート内容を分析し、検査方法や確認方法の変更といったシステム改善を行いました。

ヒヤリハットには「患者さまの取り違え」も含まれており、ご本人や付き添いの方に対しフルネーム確認を何度も行っているにも関わらず別の方が入室した事例が今回も起きています。

患者さまから入室された際にはご本人に名乗っていただくようにしているものの、外来検査時には検査室側からの呼び出しも行っているため、必要時は伝票の名前や生年月日をお見せして、声（音）だけでなく文字での確認を行うなどの方法で再発防止に努めております。

#### 3. 患者サービスについて

- ・患者さまへの気配り
- ・検査環境の見直し

##### 〈評 価〉

20年度も検査に関するクレームは特にありませんでした。ほか、言葉遣いなどの接遇面でも特に問題は起きていません。

「より良い環境で検査を受けていただく」「無理・無駄の無い検査を行う」などを目的に検査機械やベッドの配置から作業机や棚の配置・数に至るまで検討し、検査室内のレイアウトを変更、検査スペースの確保や患者さまのプライバシーの保全のための工夫、動線の改善などを行いました。

また、経年劣化が目立った脱衣かご、カーテンなどを一新し、清潔な検査環境作りを試みました。

これらの結果、患者さまはもとより、当科を訪れる他部署のスタッフからも概ね好評価をいただいております。

## ○参加した学会

20年5月30-31日 第57回日本医学検査学会（吉田）

## 講習会・研修会

- 20年7月18日 第45回 札幌心電図懇話会「心筋虚血メモリーを新しい心エコー法で観察する」  
8月30日 Ultrasound Cardiac Seminar 2008 北海道「心エコー検査の基本と応用」他  
21年1月2日 第184回臨床検査講座 心電図シリーズVol.4「ペースメーカー心電図の読み方」  
2月14日 20年度第2回健康食品管理士会北海道支部研修会  
「健康食品と薬物の相互作用」他 （吉田：健康食品管理士）  
2月28日  
～3月1日 JS S北海道 第10回地方会  
「スクリーニングエコーの実際」～基本の標準的走査法から匠の技まで～  
1日目：心臓、腹部・甲状腺などの症例検討 2日目：上腹部、骨盤腔臓器、腎動脈  
3月13日 第4回北海道心血管エコー研究会  
「心エコー所見の読み方、活かし方～間接所見から心機能を読み取る～」他

このほか、院内で行われた各委員会主催の研修会（全職員対象のもの）には全て参加しています。

## ○検査実施件数（別表をご参照ください）

20年度は前年度までと比べてほぼ同等～減少の傾向が見受けられます。

眼底カメラ検査は11月以降検査および診断を眼科へ依頼する形へ業務変更したこと、またトレッドミルや心臓カテーテル検査は機械の故障、入れ替えなどのため下半期ないしは年度末にかけて一時的に検査休止となっていたことで大幅な減少につながったと考えられます。

また、腹部エコーに関しては、例年夏頃に行われていた透析患者さまの定期検査が年度末近くの開始へと変更になった影響が出ていると考えられます。

## ○QC活動

「生理検査科エコ計画～アルカリ乾電池の再利用～」

ホルター心電図検査に際して発生する使用済みアルカリ単三乾電池の再利用に関して検討を行いました。

検討、発表は当科のみとなりましたが、各病棟、総務課スタッフのご協力の下、再利用の可否の検証や利用ルートの調査を行い、早々に院内全体での再利用を実現化することができました。

また、TQM報告会においては3回目の参加にして初めてオーディエンス賞をいただくことができました。

## ○これからの展望

21年度は一時的に（8月から年度末まで）スタッフ1名の変更が予定されております。夏頃から暫くは実質3名での検査態勢となることが予想されるため、同時期での検査重複の回避を目的として既にPC上の予約調整をさせていただいております。実際には電話相談などで可能な限り検査をお受けする予定です。

関係部署には電話連絡などでお手数をとらせることとは思いますが、件数はもとより検査の質を低下させないよう、より一層部署内外の連携を密にして、各業務を行っていきたいと考えております。

文責 吉田 紀子

	20年4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		21年1月		2月		3月		20年度総計	
	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入	外	入
心電図	281	144	161	83	176	86	218	89	119	81	175	114	293	119	163	92	176	92	231	110	165	93	184	131	2342	1234
負荷心電図マスタ	21	1	22	0	20	0	20	0	15	0	18	1	18	0	18	0	21	0	15	0	23	2	15	0	226	4
トレッドミル	4	6	4	1	2	0	2	0	2	1	4	0	1	0	2	2	0	0	0	2	3	1	0	0	24	13
ホルター心電図	9	8	19	5	16	8	12	8	18	4	12	15	16	11	10	9	9	5	10	10	16	9	13	8	160	100
心エコー	36	46	39	25	41	37	37	28	34	29	45	28	34	38	30	27	40	36	36	44	35	40	38	41	445	419
腹部その他のエコー	25	29	29	31	37	48	61	26	35	21	32	21	38	23	44	22	57	45	62	21	60	21	50	23	530	331
眼底カメラ	3	1	3	0	8	0	41	0	6	1	10	2	13	2											84	6
肺機能 ルーチン	23	8	20	15	27	5	54	3	19	8	25	11	37	6	29	6	22	7	30	9	29	9	30	16	345	103
残気量	18	6	14	13	18	4	15	3	13	5	16	8	23	4	21	4	16	5	12	9	10	8	22	9	198	78
拡散能	18	6	13	14	19	4	15	3	13	6	16	8	23	5	20	4	15	5	12	9	9	8	23	9	196	81
改善率	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6	0
肺機能 TOTAL	23	8	20	15	27	5	54	3	19	8	25	11	37	6	29	6	22	7	27	11	29	9	30	16	342	105
穿刺		0		0		3		1		3		1		0		1		0		2		0		1		12
心臓カテーテル		10		6		2		4		1		1		0		0		0		0		0		3		27
骨密度測定	5	1	1	1	3	1	9	0	2	1	5	1	2	2	3	0	0	1	5	0	3	1	10	9	48	18
血圧脈波検査	7	6	5	4	8	4	13	1	4	2	7	3	7	3	6	2	10	2	8	1	4	3	7	8	86	39
合計	451	272	332	198	375	202	497	166	280	163	366	214	505	213	347	169	366	198	421	217	358	195	392	258	4690	2465
院外ホルター解析	26		24		24		21		20		18		25		17		13		16		18		16		238	
PSG検査	11		12		15		16		12		11		6		10		8		5		10		4		120	